

## 9 スプリント製作における相互体験実習, プレゼンテーションから学んだこと

○金安麻未, 相村 誠, 小池あさ美, 佐々木晶規, 清水沙裕美

明倫短期大学 歯科技工士学科専攻科 生体技工専攻 1年

keywords : 顎口腔機能, スプリント, 相互体験実習

### はじめに

今年度から開講した顎口腔機能技工学では, スプリントの製作に関する印象採得から装着に至るまでの全工程を学生間の相互体験実習として行い, その成果をクラス内でプレゼンテーションした. 今回の報告では専攻生として学べたことやあらためて感じたことをまとめた.

### 報告

スプリントの製作と装着: 診療室では印象採得, 咬合採得, フェイスボウ・トランスファー, 口腔内装着を相互に体験し, 技工室ではスプリントを製作した. 今回の実習から歯科技工士の立場はもちろんのこと, 歯科医師と患者の立場も体験することができた. 同級生のスプリントを相互に装着することにより, 患者としての気持ちを理解することもでき, 歯科医療従事者としての責任感をより自覚することができた (図1).

プレゼンテーション: 発表の分担を①目的②種類③製作方法④フェイスボウ・トランスファー⑤半調節性咬合器の5テーマとした. 各自が資料を収集してまとめ, さらに発表を行ったことで, 顎口腔機能技工学をより深く学ぶことができた (図2).

### まとめ

本科目を通し, スプリントの製作と口腔内装着に対する理解を深めることができた. 特に, 装着の段階では実際にスプリントの調整を体験できたことから, 咬合器上と口腔内の違いを知ることができた. 加えて患者の立場を自ら体験することによって, 患者が受ける

様々な負担も感じることもできた. 以上の総合的な体験実習を通して, 歯科技工装置を製作するにあたっての責任感を強く持つことができた. この体験を専攻科での今後の臨床技工実習に活かし, さらなる技工技術の向上を目指し, 広い視野で歯科技工を捉えていきたい.

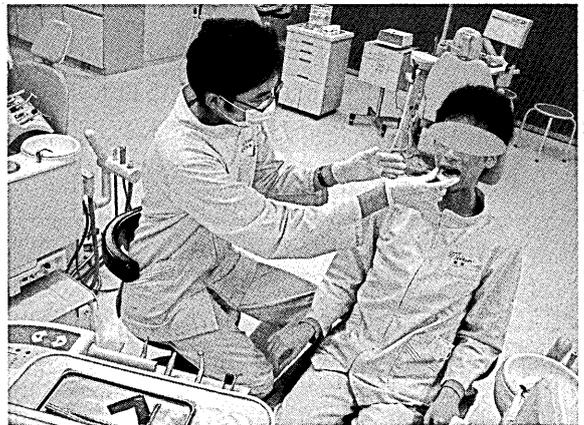


図1. 診療所でのスプリントの装着



図2. 担当したテーマのプレゼンテーション